

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【公表番号】特表2019-528962(P2019-528962A)  
【公表日】令和1年10月17日(2019.10.17)  
【年通号数】公開・登録公報2019-042  
【出願番号】特願2019-516620(P2019-516620)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/12

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月16日(2020.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の脈管内に位置付けるための、近位側部分及び遠位側部分を含む可撓性の細長い部材と、

前記可撓性の細長い部材の前記遠位側部分に配設される、導体インターフェースを含む画像診断アセンブリと、

前記可撓性の細長い部材の長さに沿って延在し、前記画像診断アセンブリと通じている複数のワイヤであって、前記導体インターフェースで前記画像診断アセンブリに連結される、前記複数のワイヤと、

接着剤によって前記導体インターフェースの反対面に連結される表面を有するガイド部材であって、前記複数のワイヤが前記ガイド部材を通して延在し、前記ガイド部材が、前記複数のワイヤを前記導体インターフェースに対して集合的に位置合わせする、前記ガイド部材とを含む、腔内画像診断デバイス。

【請求項2】

前記ガイド部材は複数のボアを備え、前記複数のワイヤそれぞれが前記複数のボアのうちそれぞれのボアを通して延在する、請求項1に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項3】

前記導体インターフェースは複数の導電性パッドを備え、

前記ガイド部材は、前記複数のワイヤそれぞれを前記複数の導電性パッドのそれぞれのパッドと位置合わせする、請求項2に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項4】

前記複数の導電性パッドは第1の距離で互いから離間し、

前記複数のボアは第2の距離で互いから離間し、

前記第1の距離及び前記第2の距離は、前記複数のワイヤそれぞれが前記複数の導電性パッドの前記それぞれのパッドと位置合わせされるように選択される、請求項3に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項5】

前記ガイド部材はポリマーを含む、請求項1に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項6】

前記ガイド部材は前記複数のワイヤの周りに成型される、請求項1に記載の腔内画像診

断デバイス。

【請求項 7】

前記複数のワイヤは 8 本のワイヤを含む、請求項 1 に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項 8】

前記導体インターフェースに隣接して位置付けられた更なるガイド部材を含み、前記更なるガイド部材は、前記画像診断アセンブリに通じている複数の導電性部材を含み、前記複数のワイヤは、前記複数のワイヤそれぞれが前記複数の導電性部材のそれぞれの導電性部材に接触するようにして、前記更なるガイド部材を通して延在する、請求項 1 に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項 9】

前記更なるガイド部材は前記ガイド部材に連結される、請求項 8 に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項 10】

患者の脈管内に位置付けるための、近位側部分及び遠位側部分を含む可撓性の細長い部材と、

前記可撓性の細長い部材の前記遠位側部分に配設される、導体インターフェースを含む画像診断アセンブリと、

前記可撓性の細長い部材の長さに沿って延在し、前記画像診断アセンブリに通じている複数のワイヤであって、前記導体インターフェースで前記画像診断アセンブリに連結される、前記複数のワイヤと、

接着剤によって前記導体インターフェースの反対面に連結される表面を有する第 1 のガイド部材と、

前記導体インターフェースの前記反対面に連結される第 2 のガイド部材とを含み、前記複数のワイヤは前記第 1 のガイド部材及び前記第 2 のガイド部材を通して延在し、前記第 1 のガイド部材及び前記第 2 のガイド部材は、前記複数のワイヤを前記導体インターフェースに対して集合的に位置合わせする、腔内画像診断デバイス。

【請求項 11】

前記第 2 のガイド部材は、前記画像診断アセンブリに通じている複数の導電性部材を含み、前記複数のワイヤは、前記複数のワイヤそれぞれが前記複数の導電性部材のそれぞれの導電性部材に接触するようにして、前記第 2 のガイド部材を通して延在する、請求項 10 に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項 12】

前記第 1 のガイド部材は前記第 2 のガイド部材に連結される、請求項 10 に記載の腔内画像診断デバイス。

【請求項 13】

腔内画像診断デバイスを組み立てる方法であって、前記方法は、

導体インターフェースを含む画像診断アセンブリを獲得するステップと、

ガイド部材を通して延在する複数のワイヤを獲得するステップと、

接着剤を使用して前記導体インターフェースの反対面に前記ガイド部材の表面を連結させることによって前記複数のワイヤを前記導体インターフェースに対して集合的に位置合わせするステップと、

前記複数のワイヤを前記導体インターフェースで前記画像診断アセンブリに連結するステップとを含む、方法。

【請求項 14】

前記ガイド部材を通して延在する前記複数のワイヤを獲得するステップは、

前記ガイド部材を前記複数のワイヤの周りに形成することを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記導体インターフェースは、前記画像診断アセンブリに通じている複数の導電性パッドを備え、前記連結するステップは、前記複数のワイヤそれぞれを前記複数の導電性パッド

ドのそれぞれの導電性パッドにはんだ付けすることを含む、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記複数のワイヤそれぞれを更なるガイド部材における複数のボアのそれぞれのボアに挿入するステップを含み、前記複数のボアそれぞれは、前記画像診断アセンブリと通じている導電性部材を含む、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記連結するステップは、前記ガイド部材を前記更なるガイド部材に連結することを含む、請求項 1 6 に記載の方法。